

不祥事根絶に向けた校内研修

校種：小学校

1 研修テーマ

「情報セキュリティ意識を高める（職員室でのリスクマネジメント編）」

2 研修テーマ設定のねらい

現在、GIGA スクール構想が推進される中、校務において ICT 化が進んでいる。そして、校務の ICT 化において情報セキュリティ等に関する研修は避けては通れない課題である。一方、個人情報紛失事故を防ぐための「個人情報の取扱いについてのルール」の確認のための研修は今までも行ってきた。

本校では、個人情報紛失事故の要因として考えられる「情報を漫然と取扱う」ことに焦点をあてた研修内容を扱うことで、教職員の情報セキュリティ意識を高め、不祥事根絶につなげることをねらいとして本テーマを設定した。

3 研修実施までの流れ（準備）

(1) 不祥事根絶研修の年間計画作成（教頭）

ア 不祥事根絶研修年間計画の作成

年間を通して、毎月の職員会議に研修を位置づけ、テーマを明示する。

イ 職員会議次第に、研修テーマと担当者を明記する。

次回の不祥事根絶研修のテーマと担当者を周知する。

(2) 研修方法の工夫・資料の作成（担当者）

ア 当該月の担当者

テーマから研修方法を検討し、テーマにあった資料等を作成・準備する。

イ 本研修において

ワークシートの活用、小グループ編成、ワークショップ形式を取り入れた。個人では気づかない点を小グループでディスカッションすることとした。

4 研修当日の流れと時間配分（総時間：約 25 分）

(1) ワークシートに各自で記入（5 分）

ワークシート内の情報セキュリティ上のリスク（危険箇所）が考えられるところを探し、○をつける。

(2) 小グループでのディスカッション（7 分）

各自が見つけた個所とその理由について意見交換をする

(3) 全体で共有・振り返り（13 分）

小グループで話し合ったことを全体に報告をし、共有する。

振り返りシートを記入し、研修のまとめをする。

5 研修で活用した資料（別添資料参照）

- ・ ワークシートとその解答例と解説各 1 枚

- ・ 研修の振り返り 1 枚

※ 『教職員の情報セキュリティ意識を高める校内研修パッケージ』岡山県総合教育センター』より

6 研修参加者の声

- ・ 「情報セキュリティ」と一言でまとめられていると、PCやUSBメモリなどのICT機器等に関わる部分だけに意識がいきがちだが、ICTばかりでなく、文書や印刷物なども含めて、広く「個人情報管理」と考えることを感じた。
- ・ 職員室での作業途中のPCの画面が表示されたままであったり、コピーやプリントアウトしたものを回収してなかったりと、ついそのままになってしまいがちなこと等についても、常に意識していかなければならないことを感じた。
- ・ 名簿等、必要なものではあるが、その管理方法について細心の注意が必要であると感じた。
- ・ 「職員室だから大丈夫」とつい気が緩んでしまうこともあるが、職員の在室人数が少ない場合もあり、来訪者や児童が来室することを考えると、常に情報セキュリティの意識を持っていないといけないと感じた。
- ・ 金庫や引き出し等の中にあるから安心ではない。それらの扉などの開閉や鍵の取り扱いにも十分な注意が必要であることを理解した。
- ・ 一口に「情報セキュリティ」といっても、職員によってその理解度や意識に差がみられた。少人数のグループで気軽に意見交換することで、小さな疑問も話すことができ、理解することができた。これを機会に、今後はお互いに声を掛け合い、共通行動で「情報セキュリティ」に取り組んでいきたい。

7 研修の成果と課題

(1) 成果

- ・ 初歩的な内容を取り出して行ったが、日頃行動している中での「ヒヤリ・ハット」を意識することができた。改めて「情報セキュリティ」、「個人情報保護」とは何かという部分を全体で再確認することができた。
- ・ 日常の活動の中でのふとした場面や何気ない状況の中にもリスクが潜んでいることをそれぞれが意識することができた。
- ・ 短い時間設定のため研修に取り組みやすかった。
- ・ 実際の場面として、机上の整理や離席時にノートPCを閉じる等の行動がより多く見られるようになった。

(2) 課題

- ・ 本研修の資料は、岡山県教育センターが作成したものを使用した。教職員にとって、より自分事として捉えられる資料の検索が手軽にできるとより質の高い研修が実施できると考えられる。
- ・ 時間を有効に使えるよう努めているが、1回の研修で不祥事に係る内容全てを取り上げることは実質不可能であるため、継続的な研修への取組が必要である。